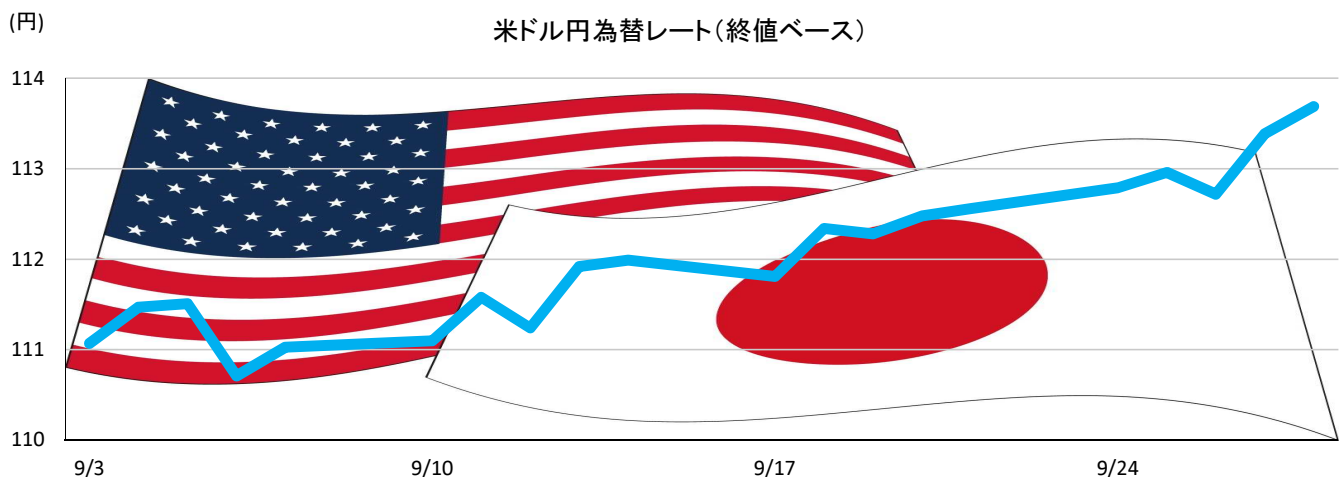


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り:** 9月のドル円相場は110円半ば～113円後半で推移。米国貿易問題や中間選挙を控えているトランプ大統領の言動が主な材料となった。前半はトランプ大統領が日米貿易に関する発言をしたため、足を引っ張られたものの、米雇用統計を好感し持ち直す展開。その後は米中貿易戦争に関してマーケットへの影響が限定的となったことや利上げ期待感、米国株高などで、リスク選好のドル買いの流れに。さらに良好な経済指標発表もドル高に拍車をかける展開となって、対円だけでなく対ユーロや対ポンドなど他通貨においてもドル買いが続いた。なお月末に行われた日米首脳会談で日米貿易について発言があったが、大きく材料視されることはなかった。



## EXTRA VISION

**今後の展開:** 貿易戦争懸念のドル売りと金利差拡大によるドル買いという流れが続いていたが、ようやくドル高の流れに比重が変わってきた。米中貿易問題に日米貿易問題まで拡大してきたことによる潜在的リスクはあるが、米経済指標がいずれも良好なことでNYダウが史上最高値を更新する動きに引っ張られる形でドルが各通貨に対して全面高となっており、ドル買いが止まる理由が見当たらなくなっている。ただ一部でバブル懸念がないわけでもないため、短期的動きには注意が必要だが、しっかりと流れに乗れるポジションを整えておきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
10 / 25 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
10 / 26 (金)	21 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
10 / 31 (水)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
11 / 1 (木)	21 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
11 / 2 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
11 / 9 (金)	4 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
11 / 14 (水)	8 : 50	JP	日GDP速報値	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。